

授業科目	*キャリアデザイン論 I				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	高橋 幸夫										
授業概要	<p>本授業は本学科のキャリア支援のための科目群（インターンシップ・キャリア・デザイン論Ⅱ）の入門編としての基礎的知識を修得することを目的とする。</p> <p>授業スケジュールとしては、2つのセクションから構成される。</p> <p>前半セクションは「キャリアデザインとは」「働くことはどういうことか」「職業生活における女性活躍やWLBとはどのようなものか」などについての知識を幅広く修得する。</p> <p>後半セクションでは女性活躍推進やWLB推進に取り組む北九州市内企業の推進担当者（労務・人事担当者など）を講師として招聘し、実際に企業に勤める社会人のリアルな声を聴くための場を設けることで、学生は「就職して働くことや自身のキャリア」について自身のこととして考えるきっかけとする。</p> <p>この後半セクションの講義については本学就職課との連携で運営する。</p> <p>なお、外部講師による講義は社会情勢などにより企業内容・授業回数などの変更もあり得る。</p>										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>1 働くとはどういうことかを理解できる。</p> <p>2 社会での女性活躍やワークライフバランスについて理解できる。</p> <p>3 さまざまな業界における仕事内容および就職活動で重要なことを理解できる。</p> <p>様々な業界の現状、就職活動のアドバイスを把握する。</p>										
理想的 レベル	様々な業界の現状や就職活動のアドバイスを聴き、自身のキャリアデザインの参考とすることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	50%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%										
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリン グ	T021901J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
授業内容を復習し、興味・関心や疑問点を整理する。さらに社会人交流会では、企業の事業概要を調査予習し、またプレゼンテーションに備えて社会人交流会内容を整理する。										4	
授業計画											

第1回	テーマ：ガイダンス 本授業の概要、スケジュール、評価ポイントなどをガイダンスする。
第2回	テーマ：キャリアデザインとは何か ワークキャリアとライフキャリアなどのキャリアデザインの基本的な概念を理解する
第3回	テーマ：企業社会の常識とは 社会人として身につけなければならない企業社会の常識について理解する。
第4回	テーマ：女性活躍・ワークライフバランスとキャリア (外部講師) 北九州市総務局女性の輝く社会推進室より講師を招き、北九州市の女性活躍推進施策と市内企業の実態について理解する。
第5回	テーマ：社会人交流会参加企業紹介とグループ分け 社会人交流会参加企業紹介とワークグループ分けを行う
第6回	テーマ：社会人交流会参加企業事前調査①金融・不動産業界を調査する(予定) 次回以降の授業で主担当する社会人交流会参加企業の事業概要をグループごとに調査し、質問事項を整理する。
第7回	テーマ：社会人交流会①金融・不動産業界を理解する(予定) 参加予定企業の事業概要などについてインタビュー形式で進行し、企業理解する。
第8回	テーマ：社会人交流会参加企業事前調査②製造・情報サービス業界を調査する(予定) 次回以降の授業で主担当する社会人交流会参加企業の事業概要をグループごとに調査し、質問事項を整理する。
第9回	テーマ：社会人交流会②製造・情報サービス業界を理解する(予定) 参加予定企業の事業概要などについてインタビュー形式で進行し、企業理解する。
第10回	テーマ：社会人交流会参加企業事前調査③旅行・運輸業界を調査する(予定) 次回以降の授業で主担当する社会人交流会参加企業の事業概要をグループごとに調査し、質問事項を整理する。
第11回	テーマ：社会人交流会③旅行・運輸業界を理解する(予定) 参加予定企業の事業概要などについてインタビュー形式で進行し、企業理解する。
第12回	テーマ：グループワーク 各社会人交流会の復習・整理とグループプレゼンテーションに向けた準備を行う。
第13回	テーマ：前半グループプレゼンテーション 各グループプレゼンテーションと学生講評
第14回	テーマ：後半グループプレゼンテーション 各グループプレゼンテーションと学生講評および教員講評
第15回	授業総括とレポート課題
テキスト	毎回プリントを配布する。 外部講師授業資料に関しては都度指示する。
参考図書・教材	必要に応じて都度紹介する。

／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	第1回授業で指示するが、授業中の発言、グループワークでのリーダーシップ等によって評価する。課題に対するフィードバックは、講義の際に口頭、もしくは授業コメントシートに記入して返却するなどして実施する。
学生への メッセー ジ・コメ ント	特に必要はないが、日頃からテレビ・新聞その他のメディアから北九州市内の企業情報・ニュースに接する習慣をつける。 1『会社四季報』を読むことを推奨する。 2 業界・しごとに対する先入観を捨てる。 3 職業人に接するのにふさわしい言動、身だしなみでの受講を心がける。 *授業内容・スケジュールについては外部講師の都合により変更の場合もある。